

# 変動型分子標的樹状細胞治療

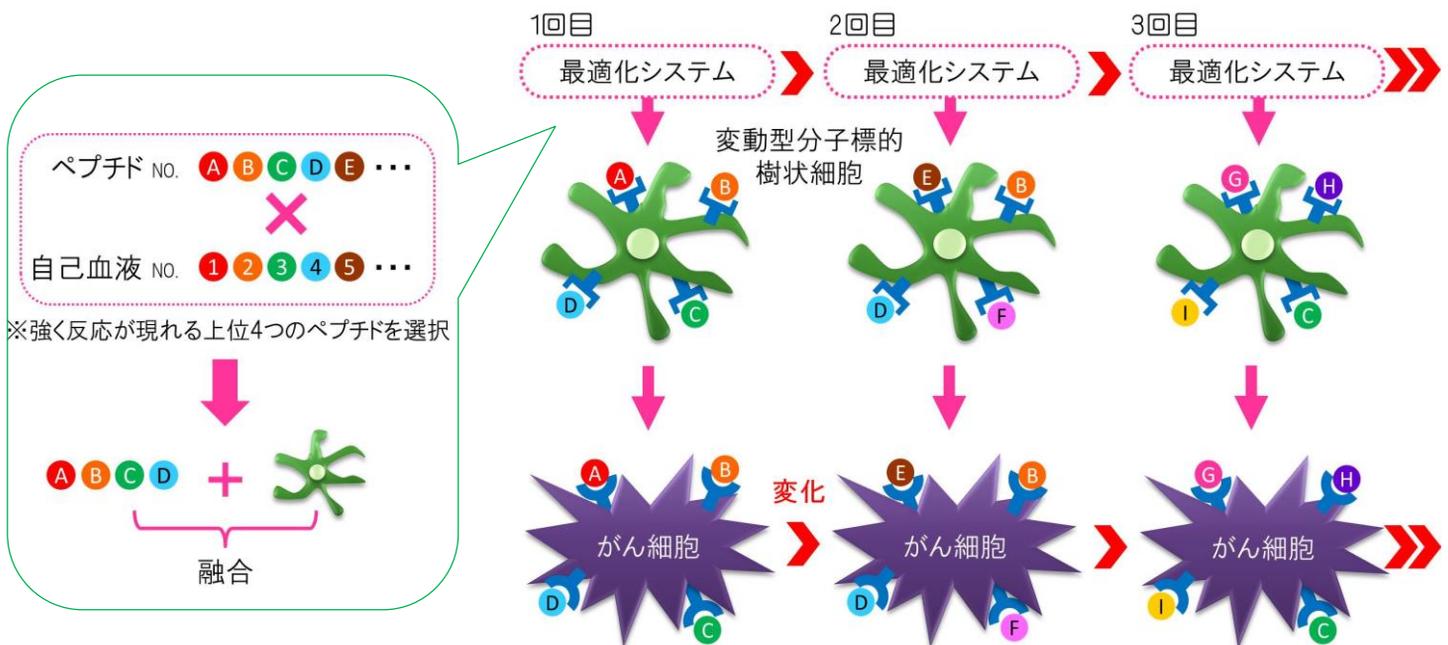
## ～最適化システムを搭載～

### ★ がんの変異を見逃さないペプチド検出メモリーを応用 ★

がん細胞は免疫の攻撃から逃れるため、攻撃の目印となるがん抗原(ペプチド)を変え続けます。そのため、同じペプチドのワクチンを用いたままでは、治療に抵抗性が生まれることが問題となってきます。

そこで、私たちの体に備わっている **出現したがん抗原を記憶する「メモリー機能」**に着目し、血中に存在するメモリー情報とペプチドとの反応性を経時的に調べ、今後現れる可能性のあるがん抗原を予測し、もっとも有利なペプチドを上位から選ぶ技術を開発しました。

この技術によって、その時々で効果が期待できるタイムリーなペプチドを樹状細胞に搭載すること(分子標的樹状細胞)が可能になり、いつでも本来の力を発揮しやすくなりました。今までの免疫治療や化学療法が効かなくなってきた方や、がんが再発した方におすすりめしたい治療法です。



### \*変動型分子標的樹状細胞治療\*

基本培養費	350,000円(税抜き)/1回
ペプチド検査(初回のみ)	90,000円(税抜き)/初回のみ